駒林小学校便り
令和４年度
１０月号
～2023年4月、駒林小学校は創立50周年を迎えます～

行事から学ぶこと

校長　西尾武泰

「暑さ寒さも彼岸まで」との言葉がある通り、お彼岸が過ぎて朝夕はめっきりと涼しくなり、季節の移り変わりを実感します。

いよいよ10月に入り、学校では令和4年度の折り返し地点を迎え、10月22日（土）に行われる運動会に向けて、各学年では練習が始まりました。昨年度は前半と後半に分けての開催でしたが、今年度は全校一斉開催に挑戦します。それにより、子どもたちはどの学年の演技も見ることが出来ます。（校庭に全校児童が出ますので保護者の見学は各家庭2名までとさせていただきました。ご承知おきください。）運動会に向けて、学年の団結、お互いの役割分担など学習を積み重ねています。同じめあてをもって心ひとつに取り組むことが特に大事である運動会。それぞれの学年の成果を期待しています。

そして、10月11日～12日に6年生は日光へ修学旅行に行ってきます。3年ぶりの修学旅行です。校外行事の中でも6年間の集大成として「学びを修める」という意味を含めた「修学旅行」です。遠足でも社会科見学でも体験学習でもなく、今まで学習したことを実際にその地へ行って確かめることを目的とする行事です。授業で学んだことばかりではなく、6年間の小学校生活で学んだ集団だからこそできる事、集団としての喜びや気づきを実感することも大事な学びです。自分たちが自主的に計画し、様々な活動を通して人間関係や自分の可能性を広げること、自然を満喫することで自然保護の意識を持つこと、実際に歴史的遺産を目にすることで、さらに歴史の学習に興味や意欲をもつことなど、まさに「学びを修める」修学旅行となるように頑張ってほしいです。

話は変わって、私たち教職員は、普段の生活の中で、子どもたちが事故やケガに繋がりそうなヒヤリハットがあった時には、それを情報共有システムに入力して、全員で共有しています。共有することにより教職員に危険予知ができるような力をつけるトレーニングともなっています。また、大きな行事の前には打ち合わせの時にリスクマネジメントを重点的に行っています。リスクマネジメントを行うことにより、教職員の視点も磨かれていきます。行事本番の時に、そこで培った視点が役立ち、子どもたちのリスクを回避できることが多くあります。これも行事から学べることです。

令和4年度も半分が終わり、後半に入ります。7日（金）に渡される「あゆみ」をしっかりと見て前期の生活を振り返り、次年度に向けての具体的な後期の目標を掲げて生活できるように、ご家庭でも話題にしていただけるようお願いいたします